

「(仮称) 町田市子どもにやさしいまち条例」前文(案)に対する意見一覧
【検討部会員】

・いただいたご意見を集約しています。文言・表記の統一を行っています。

項番	委員名	意見	回答
1	菅野委員	<p>①確かにシンプルでインパクトはありますが、「子どもにやさしい」をくりかえしているだけで、具体的にどう「やさしい」のかがわかりません。</p> <p>②また、子どもの権利は「意見を言い、実行する」だけではありません。この前文だと子どもの権利を狭くとらえているような印象を与えていると思います。</p> <p>これまでの条例検討部会で作り上げた修正前の前文(案)で大事なものは 「すべての子どもは、他の誰とも違うかけがえのない存在で、その尊厳は当然に守られ、社会の一員として、あらゆる場面において尊重される必要があります。」 「子どもの最善の利益は、大人が勝手に決めるものではなく、子ども自身が決めるものであり・・・」 「子どもが権利の主体として、一人ひとりの違いが認められ、あらゆる差別や不利益を受けることなく、ひとしく健やかに成長できる社会の実現・・・」 「子どもが自分自身で選び、たとえ失敗や間違いをしてもやり直し、それを糧として子ども同士や大人とのかかわりを通して成長していける・・・」</p> <p>の部分だと考えています。今回の前文(案)ではそこが反映されていないと思います。</p> <p>上記部分を加えた案を提示します。(下線部分が修正・追加部分です。)</p> <p><u>子どもたちにやさしいまちになるために、</u></p>	<p>①市では、「子どもにやさしいまち」の具体的な内容は大人がそれぞれの立場や社会活動の中で考えるものと考えております。</p> <p>②ご指摘の内容を踏まえ、修正を加えました。</p> <p>修正前の前文(案)記載の内容は非常に重要であることは理解しております。市としては参画の次のステップである、「子ども自身による実行」が新たに始める取組であり、この点をより強調したいと考えております。</p> <p>また、参加する権利は、他の3つの基本的な権利が保障された上で、守られることが可能となる権利であるため、参加する権利の保障を進めることで、他の権利も保障される「まち」になると考えております。</p> <p>なお、条例検討部会で議論いただいた内容につきましては、条例の啓発イベントや副読本等を作成の際に取り入れていきたいと考えています。</p>

1	菅野委員	<p><u>一人ひとりの違いが認められ、だれひとりとして嫌な思いをしないまちであること</u> <u>子どもたちにやさしいまちになるために、子どもたち自身が、自分にとって大事なことを自分で決められるまちであること</u> <u>子どもたちにやさしいまちになるために、子どもたち自身が、意見を言い、実行できる</u> <u>たとえうまくいかなくてもやり直すことができる</u> <u>できるまちであること</u> <u>子どもたちにやさしいまちになるために、みんなが、つながり、連帯している、立場に関わらず、互いを認め合い、活動している</u> <u>まちであること</u> それは、何よりもお互いが支えあう</p>	
		<p>③また、条例検討部会で検討する際大事にしたのは、子どもたちに届く、自分事と思えるようなメッセージにするということでした。</p> <p>条例検討部会で何度も議論した内容が活かされてないようで残念です。インパクトを示したい意図はわかりますが、条例検討部会での議論を大事にしていきたいと思えます。</p>	<p>③いただいた意見や、子ども・子育て会議委員からの意見を参考に、表現を修正しました。</p>
2	吉川委員	<p>①この前文（案）からは何を指す条例なのかを理解できませんでした。 前回までの議論とは全く方向性が異なるので驚いていますが、まずはどのような経緯で今回の変更に至ったのかをご説明をお願いします。</p> <p>②修正前の前文（案）冒頭部分の「子どもの最善の利益は、大人だけで判断するものではなく、子どもの意見を聴き、その意見を尊重しながら考えていくべきものです。かけがえのない大切な存在である子どもが健やかに、そして、豊かに成長できる社会を実現するた</p>	<p>①文章の形式にこだわらず、「子どもの参画」の次のステップである、「子ども自身による実行」を特に強調したいという市の想いを、文字数を含め、子どもにも伝わるように再度考え直した結果、前文を修正することとしました。</p> <p>②ご指摘の内容を踏まえ、修正を加えました。 ご指摘の部分については、非常に重要な視点・表現であると認識しております。項番1での回答のとおり、市では「子どもによる実行」を強</p>

2	吉川委員	<p>めには、行政や大人が、子どもを権利を持つひとりの人間としてあらゆる場面で尊重し、その意見に耳を傾け、子どもの社会への参画を手助けしていくことが必要です。」は、この条例の存在意義を語るにおいて重要な視点だと考えますので、そのあたりが全くなくなってしまうのは非常に残念です。</p>	<p>調したいという考えがあるため、資料4記載の表現としました。 ご指摘の視点につきましては、条例の啓発イベントや副読本等を作成の際に取り入れていきたいと考えています。</p>
3	叶内委員	<p>「条例前文（案）の考え方」の「文字数を減らし、わかりやすくする」と「条例に関心を持ってもらい、少し固い内容である本文までに読み手を導くために、前文でインパクトを与えるよう、表現方法等、形にとらわれずに考える」について</p> <p>自治体が制定する条例の前文は、そのほとんどが固い表現でした。今まで、条例検討部会や子ども・子育て会議で検討・報告してきた経過がありながら、修正前の前文（案）に大きくスタイル変更があったことは驚きました。しかしながら、条例前文（案）の考え方を踏まえると、誰にでも理解しやすく、条例に対する関心を高めるという意味では、形に捉われない形式とするのは良いと思います。町田市のやさしさが伝わってくるこの前文（案）に賛成します。</p> <p>①「条例前文（案）の考え方」の「これからの取組である「子どもの参画」の次のステップである「子ども自身による実行」を示す」について</p> <p>子どもの参画の次のステップである「子ども自身による実行」の取組とは、具体的にどのような取組なのか。従前からあるような子どもの参画、子どもの意見を生かした子どもセンター整備などの取組だけではなく、今までにない「新たな」子ども自身による実行をどう具体的に見せるのか教えてください。</p> <p>②「条例前文（案）の考え方」の「子どもに関わる全ての大人、町田市全体で「子どもに</p>	<p>①「子ども自身による実行」の取組の1つとして、2023年度に実施する「まちだ若者大作戦」を想定しています。この「まちだ若者大作戦」とは、13歳から23歳までの若者が考える、やりたいことを実現する事業で、企画の提案、審査、広報、実施までを全て若者が行います。</p> <p>②ご指摘の内容を踏まえ、修正しました。</p>

3	叶内委員	<p>やさしいまち」に取り組む姿勢を示す」について</p> <p>子どもに関わる全ての大人、町田市全体で「子どもにやさしいまち」に取り組む姿勢を示すのであれば、「市はもちろん」と簡単にまとめてほしくありません。市民が選んだ市民の代表であり、市政について審議し決定する「市議会」を明確に表記すべきと考えます。</p>	
		<p>③「条例前文（案）の考え方」の「これまで検討してきた前文にある、これまでの取組（子ども憲章の策定、子どもの参画、子どもの意見を生かした子どもセンター整備）に関する記述や、「尊重すべき子どもの権利」等の文章は、副読本や条例の逐条解説中で詳しく示す」について</p> <p>条例検討部会や子ども子育て会議で議論してきた、最も大事にするべき「子どもの権利」に関する部分については、条例の理念そのものを示すものです。条例策定だけではなく副読本や逐条解説の用意があることに嬉しく思いました。</p> <p>今回の条例は「町田市全体の思い」となるよう、策定したら終わりではなく、より多くの方たちに副読本等と条例が一体的に読まれ、理解しやすく掲載されるよう考えていただきたい。</p>	<p>③条例検討部会や子ども子育て会議で議論してきた、最も大事にするべき「子どもの権利」に関する部分につきましては、条例の啓発イベントや副読本等を作成の際に取り入れ、より多くの方たちに理解してもらえるよう考えていきます。</p>
4	福田委員	<p>文字が圧倒的に少なくなったことで、読みやすく、インパクトもあり、シンプルでわかりやすくなったと思います。伝えたいことが明確になったと思いました。</p>	
		<p>表現について、3点意見いたします。</p> <p>①「このちいき＝まちだ」を「このまち＝まちだ」にするのはいかがでしょうか。</p> <p>そのあとに「まち」という言葉が多く使われる中であえて、「ちいき」とした意図があれば、教えてください。</p>	<p>①条例第10条に「地域住民」や「子どもが生活する地域」といった記載があります。その他の条文においても、「地域」という単語が出てくるため、「ちいき」を使っておりました。</p>

4	福田委員		ご指摘の部分につきましては、5月14日に開催した「子どもの参画ミーティング」において、子ども達から平仮名が多すぎると読みづらいとの指摘があったため、表現を修正しております。
		②「このちいき＝まちだでのぞみ、目指す」は、「このちいき＝まちだかのぞみ、目指す」と意味が違ってくると思いますが、「で」にした意図があれば教えてください。	②「子どもにやさしいまち」は、その地域の人々が目指すものなので、前文（案）記載の表現としております。
		③前文（案）の後半、「町田市は、「子どもの権利」が大人にも、子どもに認知されて定着し、・・・」のところ、は、「大人にも子どもにも認知されて」が良いと思います。	③ご指摘の内容を踏まえ、修正しました。